

寧夏大学・島根大学国際共同研究所の設置に関する基本合意書

日本・島根大学と中国・寧夏大学は、長年にわたる教育・研究分野における有益な協力により、多くの研究成果を収め、協力の経験を蓄積し、すでに良好な基礎を築いている。今後、さらに一層の協力と交流を展開していくために、双方の協議を経て、寧夏大学・島根大学国際共同研究所の設置と、それに関する基本事項について以下の通り合意する。

1. 両大学の国際共同研究所設置の主旨及び業務概要

今後、両大学間の教育・研究分野における協力をますます拡大し、深めていく。人材育成と学術交流のための基礎を築く。高等教育機関の国際協力のため、新たなモデルをつくりだす。

- (1) 共同研究および研究プロジェクトの創出を行う。長期間にわたり両大学が共同で行ってきた寧夏南部山区と日本中山間地域経済社会の持続的発展に関する研究、生態系および環境の保護と再生、農村経済と社会発展の比較研究等の分野を含め、一つの研究拠点をつくりだす。
- (2) 両大学間において教職員研修のための相互交流を行う。具体的には、島根大学は、寧夏大学から大学院生・若手教員を受け入れ、その育成、研修を担うとともに、両大学は、客員研究員を相互に派遣する。
- (3) 両大学間の各学部・学科レベルにおける学術交流活動、研究者の相互交流、講義等を行うとともに、関連する学術交流会議を開催する。
- (4) 学術資料・情報の蓄積、収集および提供業務を行う。
- (5) 地方行政における経済社会発展政策等の策定のために、学術研究の成果を踏まえて助言、提言を行う。
- (6) その他両大学が必要と認める業務を行う。

2. 研究所の組織

- (1) 名称：寧夏大学・島根大学国際共同研究所
- (2) 所在地：寧夏大学キャンパス内
- (3) 構成員：両大学の学長または副学長を名誉所長とし、両大学から所長を1名ずつ出す。専任職員を若干名置く。研究プロジェクトや業務上の必要に応じて、両大学の内外から研究所員を任用する。
- (4) 施設：当面、寧夏大学が研究所用スペースとして約 500 m²を提供し、研究所の業務を開始する。その後、国際協力銀行（JBIC）からの円借款により、寧夏大学新キャンパス内に新たな研究所の建設を目指す。
- (5) 設立時期：2004年6月までに、具体的な業務内容、それを遂行するための諸規則及び細則を定め、研究所を正式に立ち上げ、業務を開始する。

3. 研究所の所要経費と負担

- (1) 研究所における中国側の専任職員の人件費、および日常的な業務に係わる経費については、寧夏大学による負担とする。
 - (2) 共同研究プロジェクト、人的交流、研修及びその他の交流事業等に係わる各々の所要経費については、両大学のそれぞれの関係部門が責任を持って資金調達を行う。
 - (3) 新研究所の建設において、必要な建物の建設費および設備の整備費は、国際協力銀行（JBIC）の円借款により調達する。
 - (4) 外部資金の獲得に積極的に努める。
4. この合意書は両大学の学長が署名を行った日から効力を生じるものとし、5年間有効とする。
5. この協定書は、等しい正文である日本語と中国語により各2通作成し、相互に各1通を保管するものとする。

2004年3月8日

島根大学

学長

本田雄一

2004年3月11日

寧夏大学

校長

陈育宁

关于组建宁夏大学·岛根大学国际联合研究所的框架协议书

中国宁夏大学与日本岛根大学多年来在教学, 科研领域进行了有益的合作, 取得了一批研究成果, 积累了合作经验, 已经有了较好的基础。为了今后进一步深入开展合作与交流, 经双方协商, 组建宁夏大学·岛根大学国际联合研究所, 并拟定框架协议如下:

一. 组建两校国际联合研究所的宗旨与任务:

为今后更广泛深入地进行两校间教学, 科研领域的合作, 为人才培养及各类学术交流活动构建一个平台, 为高等学校国际间合作创建一个新模式。

- (一) 共同进行科研项目的合作及开发。包括对长期以来两校合作开展的宁夏南部山区与日本中山间地域经济社会可持续发展的研究, 生态环境保护与建设, 农村经济与社会发展的比较研究等方面建成一个基地;
- (二) 组织两校间人员的互相培训。具体组织落实宁夏大学研究生, 青年教师到岛根大学培训, 进修, 访学以及岛根大学教师到宁夏大学访学事宜;
- (三) 组织两校间各专业, 学科的学术交流活动及学者互访, 讲课等, 筹办相关学术会议;
- (四) 积累, 收集学术资料信息, 提供相关服务;
- (五) 为地方行政经济社会发展决策根据研究成果提供咨询;
- (六) 其他两校认为有必要进行的工作。

二. 研究所的组建:

- (一) 名称: 宁夏大学·岛根大学国际联合研究所。
- (二) 所址: 宁夏大学校内。
- (三) 人员: 由两校校级负责人担当名誉所长; 两校各委派一名所长。内设少量专职人员。
依据项目和任务需要, 采用在两校内外聘用的用人机制。
- (四) 研究所的场地: 宁夏大学先提供 500m² 左右的办公用房, 启动研究所的工作; 争取利用日本国际协力银行贷款, 在宁夏大学新校区内建设新的研究所所址。
- (五) 研究所的成立: 争取在 2004 年上半年正式挂牌启动。与此同时, 积极筹划研究所的具体工作任务, 工作制度及各项细则。

三. 研究所的活动经费：

- (一) 研究所中方专职人员经费及日常工作经费由宁夏大学负责；
- (二) 科研项目合作，人员互访，培训及交流活动等专项开支由两校根据相关渠道筹措解决；
- (三) 新建所址，需要基建，设备费用争取利用日本国际协力银行贷款项目资金解决；
- (四) 争取外部资金的支援。

四. 此协议书自两所大学校长签字之日起生效，有效期为五年。

五. 此协议书同等内容分别用中文和日文写成，两种文本具有同等效力，双方各保留中日文本各一份。

2004 年 3 月 11 日

宁夏大学

校长：

陈育宁

2004 年 3 月 8 日

岛根大学

学长：

本田雄一